

平成29年10月11日(水) 9:50~  
大田スタジアム

第7回関東選手権大会  
1回戦

VS 日立製作所

初回、先頭の吉田が相手のエラーで出塁し、2番・木田の送りバントで1死2塁のチャンスを作るが後続が倒れ先制することができない。先制された直後の2回も5番・竹内がヒットで出塁するが7番・大野がゲッツーに倒れ得点を奪えない。

3回、4回は三者凡退に打ち取られなかなか反撃の糸口をつかめない。5回、6番・加藤がヒットで出塁するが、ここでもあとが続かず無得点に終わる。

8回、代打・小川がヒットを放ち1死1、2塁のチャンスを作るが、9番・新城がゲッツーに倒れ無得点。9回は2番・木田、4番・増野のヒットで2死1、2塁とするが、最後は5番・竹内がライトフライに打ち取られて試合終了。0-4で完封負けを喫した。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	1	0	0	1	0	0	1	2	5
	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日立製作所	安打	2	1	0	0	0	1	0	0	X	4
	安打	3	4	1	1	2	1	1	1		14

初回、先発の古田は先頭打者に3塁打、続く打者に2塁打を打たれわずか4球で先制を許すと、この回さらに1点を失い2点を先制される。さらに2回も3連打で1点を失い3失点でマウンドを降りる。

3回からは2番手で鈴木が登板、走者を出しながらも無失点に抑え、5回2死1、3塁で3番手・黒萩にスイッチ。黒萩は続く打者を三振に打ち取って追加点を許さない。

6回、3番手・黒萩が1死満塁のピンチを招いたところで4番手として三宮が登板。このピンチを犠牲フライのみの1失点に抑える。三宮は7回、8回もヒットを打たれながらも粘りの投球で無失点に抑えて見方の反撃を待つ。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打飛	四死	打率	
						計	単	二塁	三塁						本塁
1	6	吉田	総合法人第五部	4	4	0								0.000	
2	5	木田	所沢支社	4	3	1	1				1			0.333	
3	9	泉澤	武蔵野支社	4	4	0								0.000	
4	8	増野	川崎支社	4	4	1	1							0.250	
5	7	竹内	町田支社	4	4	1	1							0.250	
6	DH	加藤	八王子支社	3	2	1	1					1		0.500	
7	3	大野	池袋支社	3	3	0								0.000	
8	2	森川	横浜支社	2	2	0								0.000	
	H	小川	町田支社	1	1	1	1							1.000	
	R→2	木内	横浜支社	0	0	0								#DIV/0!	
9	4	新城	新宿支社	3	3	0								0.000	
計				32	30	5	5	0	0	0	0	0	1	1	0.167

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	古田	立川支社	●	2	13	44	7	1	1	3	3	13.50
2番手	鈴木	千代田支社		2 2/3	13	58	4	1	1	0	0	0.00
3番手	黒萩	浦和支社		2/3	5	20	1	1	2	1	1	13.50
4番手	三宮	横浜支社		2 2/3	11	39	2	1	1	0	0	0.00
計				8	42	•	14	4	5	4	4	4.50